

令和4年度第1回養父市立図書館協議会 会議録(要旨)

開催日時 令和4年10月12日(水) 午前10時～午前12時
開催場所 やぶ市民交流広場 大会議室
出席者 委員9名、教育長、事務局3名

1 開会

2 あいさつ(会長、教育長、館長)

3 報告事項

(1) 令和3年度事業報告並びに図書館利用状況について

別添資料参照

4 協議事項

・ 事務局より令和4年度事業経過並びに概要について説明

(委員)マイナンバーカード連携と端末更新はいつごろ完成し、何がどう使い易くなるのか。

(事務局)2月末に完了し、新年度から動き出す。マイナンバーカードでも図書カードでも使えるようになる。端末更新でスピードアップが図れ、対面せずに借りられる。

(委員)ネット予約の使い勝手をよくしてほしいが、要望は間に合うか。

(事務局)対応できることは、改良したい。

(委員)寄贈本の登録化は進んでいるか。また、ネットでのリクエストについてはどうか。

(事務局)なかなか進んでいない。ネットでのリクエストは、当面は難しい。

(委員)ぜひパソコンでリクエストできるようにしてほしい。

(委員)現在寄贈の受け入れは実施していないのか。

(事務局)確実に登録が見込める郷土資料に限定して受け入れている。

(委員)高校生や中学生、小学生のリクエストキャンペーンをされてはどうか。

(事務局)高校生以下のリクエストは原則購入している。去年、押し本キャンペーンをやって、小・中学校からも結構応募があった。そのような試みはやってみたい。

(委員)「実際に読んだ人の感想を書店のポップみたいに書いてあったらいい」「もっと本館分の新刊を充実させてほしい」「リクエストしてもなかなか購入してもらえない」等の意見があった。「幼児の絵本を、絵を描いた人順ではなく題名順で並べてほしい」という意見もあった。

(事務局)イラストレーター順にしているのは、赤ちゃんや幼児は、絵で本を覚えるから。

(委員)草庵先生の本の場所の表示をもう少し明確にしてほしい。

(委員)図書館情報が一目で分かるようになればいい。ボランティアの組織化について考えていないか。

(館長)ボランティアの話はしているが、まだ実現できていない。

(委員)寄贈本は、データ入力とICタグの貼付と装丁を人数か日数をかければできる。個人情報関係は、入力用パソコンと切り離して入力して、最後に図書館のシステムに合

体させれば見なくて済むのでは。

(事務局) ボランティアが入れた情報が正しいかどうかのチェックが発生する。

(委員) 時短勤務でもいいから、寄贈本専用の司書を一人増やしてほしい。購入費も節約できる。市広報に図書館専属のコーナーを設けたらもっと周知されると思う。

(委員) ボランティアで解決しようと思っていることにこそ予算をつけてほしい。ここが、本当にみんなの集える場所、自分の仕事の場所、生き甲斐を見つけられる場所にするために、人にお金を使うということをもう少し考えてもらいたい。

(教育長) 各地域に図書館のためだったら行きますという方がいるはず。その掘り起しが起爆になって、まちの人たちが活性化する。

(委員) 対人関係が苦手な人は、個室の作業でもいいし、装丁作業なら家でもできる。

(事務局) 本の装丁はそんなに時間がかからない。時間がかかるのはデータ登録。

(委員) 養父市役所と八鹿郵便局の間に結ばれた包括連携協定に基づいて、郵便局で図書館の本の貸出・返却ができないか。養父市の特色にもなる。ネットで予約前候補の予約かごを作ってほしいし、予約がなければ貸出が延長できるようにしてほしい。図書館のホームページに利用案内をトップにおき、交通機関や地図等提供する情報をもう少し丁寧にしてほしい。夏休みの自由研究や社会科・総合科の課題で興味を持って研究したい中学生・高校生に図書館の研究をしてもらい、できることは図書館で取り組んでいくようにすれば、若者の意見を反映できるルートができるのでは。

(教育長) 今年、高校の教育課程が変わった。先ほどの教科は探究という新たな教科だと思うが、私は子どもに地域貢献力を育てたい。子どもたちのビブリオバトルを開き、優勝者にはインセンティブを与えるとみんな見に行くと思う。デジタル図書の導入や、市民の方が100冊読んだら学校に本を1冊贈れるという制度もおもしろい。

(委員) 中学生や高校生は受験で忙しい。豊岡の芸術文化観光専門職大学生に来てもらい、図書館をどうやって生き生きさせるか、若者の目線で考えてもらったらどうか。

(委員) 郵便局との連携以外に、全但バスとも連携して、受け渡しの所で使えたらいい。魅力づくりという面でも観光資源になる。図書館イベントで周辺の本屋や古本屋に来てもらえないか。この間、豊岡市立図書館でお互いに本を紹介し合うイベントがとても有意義だった。養父市でも図書館の啓発として取り組んだらいい。

(委員) 今、4館で同じ本は1冊だけだが、この館はこの人の本が揃っているとか、この分館はこの分野の本が充実しているということはあるのか。

(事務局) 毎月の選書は、各館バランスをとり、地域間格差をなくす方向で動いている。本館は、地域の学習拠点の一番中心地として専門的な本も導入している。

(委員) 非常に身近な所に草庵先生や山田風太郎のような人がいたことを小さい時から知って、学んで、そこから本の面白さにつながればいいと思う。

(委員) 公民館の仕事は盛りだくさんで大変だが、私たちも市内のボランティアで参画できる人たちが得意分野で活躍して、一緒にできたらと思っている。

(館長) 昨年度から英語の絵本の読み聞かせを何度か開催した。前任者がいなくなり途切れ

ているが、ALTの先生方に話したら、興味を持ってくださった。

(委員) できれば ZOOM や WEB で見られるようにしてほしい。子育ても終わっている世代は、そういう場になかなか行けないが、興味を持っている人もいる。

(委員) ここで出た意見は、お金や人がつくことで実現することが沢山ある。この意見が実現につながるといいと思う。郵便局との包括連携協定も一つのいい活路になる。今はネットで頼んで手元に届く時代なので、ぜひ実現に向けて意見を上げていただきたい。

(副会長) できれば次回、この協議会の意見を取りまとめるということを念頭に置きながら進めていきたい。(終了)